

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			自治振興活動費補助事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	18⑨交付金		194,709	190,214	0	4,495	97.7%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		190,214	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		190,214	該当/頁	103
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			活動支援金の返還及び選択事業の満額交付とならなかった自治組織があったことによる不用額						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	190,214	0	0	0	25,024	165,190			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他		基金利子, 協働のまちづくり事業助成金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	各地域の「まちづくりビジョン」達成のための活動を推進するため、持続可能なまちづくりにつなげる。地域住民自らが地域の課題の解決と地域活動の実践を通して地域活性化を図り、住民自治のまちづくりを進めていく住民自治組織の活動に対し、交付金による支援を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	自治振興活動費補助事業費 計 190,214,000円 ○負担金, 補助及び交付金 190,214,000円 ■19住民自治組織への交付金 189,274,000円 ・基本事業分: 160,576,000円 ・選択事業分: 28,698,000円 ■地域共創プロジェクト事業 940,000円 ・布野町まちづくり連合会 440,000円 布野小学校の探求的な学習活動の一環として、地域住民の協力のもと多様な農産物の栽培を行い収穫物販売までの活動を実施。地域への理解・愛着心への育成に寄与した。 ・作木町自治連合会 500,000円 地域・学校・保護者と連携し、作木町の文化、歴史について調査や意見交換を行い作木の魅力や課題を整理した。なかでも、作木小学校児童の作品である「きみをまってる」の絵本を製本し、まちづくりの魅力向上につながった。							 	
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	交付金により、各地域のまちづくりビジョンの実現に向けた取組を支援し、人口の社会増や自主的な活動など一定の成果が見られました。各組織の活動の見える化を図るために導入した選択事業は、2年目を終了し本制度への評価の声も多くなり地域課題解決に向けた取組の推進に大きく寄与しています。引き続き、各組織を対象に行っているヒアリングで出た意見等を参考により良い制度にしていくとともに、持続可能なまちづくりの支援につなげていきます。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			集落支援員事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	⑤その他報償費		12,048	12,028	0	20	99.8%
	②	役 務 費	④手数料		2	0	0	2	0.0%
	③	役 務 費	⑧その他保険料		112	104	0	8	92.9%
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		12,132	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		12,132	該当/頁	103
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	12,132	0	0	0	0	12,132			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	希望する住民自治組織に集落支援員を配置し、集落点検や地域での課題解決に向けた話し合いの促進、空き家対策や定住対策などについて住民自治組織と連携した取組を推進する。集落支援員同士の情報交換も進め、各住民自治組織が掲げるまちづくりビジョンの実現に向けた活動を支援する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	集落支援員事業費 計 12,131,600円 ○その他報償費 12,027,600円 集落支援員13人の活動に対する報償費 ○その他保険料 104,000円 集落支援員13人分の公民館総合補償制度掛金 8,000円×13人								
									
別添資料等	無								
	(事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	集落支援員事業により、空き家の調査や空き家バンクの登録促進はもとより、移住者へのフォローなど地域での様々な活動に取り組んでおり、持続可能なまちづくりに向けた役割は大きくなっています。 また、集落支援員の発想や取組により地域の集う場づくり等に向けた取組も進められており、活動の幅も広がっています。								

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			元気な地域創造施設整備支援事業						
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		① 委員等報酬		90	0	0	90	0.0%
	② 旅 費		② 普通旅費		7	0	0	7	0.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		③ 補助金 (建設単独)		0	0	0	0	0.0%
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			0	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	102	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			0	該当/頁	103	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			本事業への申請がなかったため未執行						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	0	0	0	0	0	0			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	全市的協働の取組みとなることを目標に、地域資源を活用しながら元気な地域づくりなどによる地域活性化をめざし意欲的に取組む市民が、地域の関係者等と連携した取組を推進するため、事業の創業や展開をする上で必要となる施設整備を支援する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等									
別添資料等	無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業に対する問い合わせは1件あったが、内容は今ある施設の改修で本趣旨に沿ったものでなかった。 「事業内容及びめざした目的」に記載するように、全市的協働の取組みとなることを目標に、地域資源を活用しながら元気な地域づくりなどによる地域活性化をめざし意欲的に取組む市民が、地域の関係者等と連携した取組を推進するためと明確化していることから、継続性、資金面等も含め、事業活用のハードルは高いものと分析している。								

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			協働のまちづくり支援事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	2,100	2,082	0	18	99.1%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		2,082	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,082	該当/頁	103
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,082	0	133	0	0	1,949			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	住民自治組織持続可能性創出モデル推進事業補助金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む中、住民自治組織や市民活動団体等が行う地域課題の解決や地域資源を活用した地域住民の主体的な活動を支援することで、持続可能なまちづくりの推進を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	協働のまちづくり支援事業費 計 2,082,000円 ○負担金, 補助及び交付金 2,082,000円 【実施件数等】5件 (1)住民自治組織: 1団体, 交付額266,000円 ・田幸地区町内会連合会「田幸の地域資源を活かしたまちづくり」 (2)その他団体: 4団体, 交付額1,816,000円 ① 上井田常会「権元山さくらの公園整備事業」500,000円 ② コウチエンバ「森のようちえん たねっぼ」456,000円 ③ T&Kとんぼとカエルの楽園委員会「休耕田対策及び環境保全対策事業」500,000円 ④ ままっ子クラブ「みんなおいでヨプロジェクト」360,000円								
	別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	地域課題の解決に向けた交流人口の拡大や地域資源を活用した魅力向上の取組が行われ、未就学児とその家族を対象とした「森のようちえん」(河内地区)では月1回の開催により交流の場を創出されました。公園整備(田幸地区)では、地域住民が交流できる公園を整備することにより地域課題解決に寄与するとともに、田幸地区町内会連合会が進める農村RMO事業の今年度の連携企画でも公園活用を予定されています。その他、休耕田対策や障害のある方を対象とした居場所づくり、地域資源を活かしたまちづくりなど各団体が事業目的に沿った地域づくりに寄与されました。								



款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8							
事業名			地域の未来づくりアドバイス事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	①業務委託料(物件費)		2,600	2,585	0	15	99.4%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥(①~⑤の計) →		2,585	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	102
	臨時会 補正				⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,585	該当/頁	103
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,585	0	0	0	0	2,585			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	<p>平成30年度から実施してきた「地域人材育成・派遣事業」の調査結果を活用し、各地区が変化を実感できるような具体的な提案や支援を行うためのフォローアップ事業。本事業を通じて、各地区の課題解決に向け、必要な検証・アドバイスを実施し、今後の地域づくりの具体的展開につなげることを目的に実施する。</p>								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>地域の未来づくりアドバイス事業費 計 2,585,000円</p> <p>○委託料(①業務委託料(物件費)) 2,585,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度三次市地域の未来づくりアドバイス事業業務 2,585,000円 <p>【委託先】 一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所</p> <p>【委託内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治組織(19地区)ごとの人口分析及び人口シミュレーション、介護分析 ・希望地区に対する地域づくりへの支援及びアドバイスの実施(2地区) ・神杉地区のレゴワークショップ ・布野地区の「地元学」実施支援 ・まちづくり講演会の実施(地域×教育 交流フェスタにおいて) <p>開催日: 令和7年1月18日(土) 内 容: 講演会, アンケート集約</p>				  				
	別添資料等	無							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	<p>これまでの事業結果を踏まえ、各地区の課題解決に向けた取組を行う中で、若い世代による取組や地域内外をつなぐ新たな取組を展開し始めた地域も出てきました。また、地域と地元の児童・生徒と連携した取組や地元の魅力を活かした事業実施に向けた話し合いを行うなど、これまでになかった動きが見られ、新たな地域の特色を活かした取組につながり始めています。</p>								

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			みよし暮らし推進事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報償費	⑤その他報償費		2,520	2,520	0	0	100.0%
	②	旅費	②普通旅費		323	169	0	154	52.3%
	③	役務費	③広告料		1,000	880	0	120	88.0%
	④	委託料	①業務委託料(物件費)		600	299	0	301	49.8%
	⑤	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金(補助費)		19,200	15,841	0	3,359	82.5%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →				19,709	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				424	該当/頁	107
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 →				20,133	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)			補助金の申請の見込より少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	20,133	0		0	76	20,057			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他						協働のまちづくり事業助成金		
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			移住コーディネーターによる相談や、移住・定住相談会における対応、各種補助金による移住・定住の支援を行う。また、移住・定住ポータルサイトによる情報発信を行い、本市への移住・定住の促進を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	※みよし暮らし推進事業(移住者支援)費計 20,133,530円 ○報償費(その他の報償費) 2,520,000円 ・移住コーディネーター報償費 2,520,000円(210千円×12ヶ月) ○旅費(普通旅費) 169,330円 ・定住フェアへの出張旅費 169,330円 ○役務費(広告料) 880,000円 ・TV収録 880,000円 ○委託料(業務委託料(物件費)) 299,200円 ・定住ポータルサイト運営サポート業務委託料 299,200円 ○補助及び交付金(補助金(補助費)) 15,841,000円 ・移住者住宅取得奨励金(24件) 3,600,000円 ・Uターン者実家等改修補助金(13件) 5,641,000円 ・空き家バンク改修補助金(10件) 5,800,000円 ・移住コーディネーター活動補助金 800,000円 ○負担金(補助及び交付金, ①負担金(補助費)) 379,000円 ・ふるさと帰郷支援センター団体正会員年会費 50,000円 ・R6広島県交流・定住促進協議会事業負担金 76,000円 ・大阪及び東京移住フェア出展料 121,000円+132,000円 ○役務費(通信運搬費) 45,000円 ・フェア荷物発送分 30,000円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	○移住コーディネーターを中心に、集落支援員と連携し、移住希望者の相談に対して丁寧な対応を重ね、年々、移住希望者と空き家バンク登録希望者からの相談件数が増加しています。また、ふるさと帰郷支援センターや広島県主催の移住フェアへ積極的に参加し、またテレビ番組などを活用して、移住希望者へ三次暮らしのPRを行いました。一連の活動や定住に関する補助事業のPR等により、令和6年度においては、149人の移住につながりました。							
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか									



款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名		移住支援金				
事業区分		継続事業		政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	補助金 (負担金)		6,000	2,000	0	4,000	33.3%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,000	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 107		
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,000	該当/頁 109	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		補助金の申請の見込より少なかったため。							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,000	0	1,000	0	0	1,000			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	広島県移住・マッチング支援事業補助金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市への移住及び定住の促進並びに中小企業等における人材不足の解消のため、東京圏から本市へ移住して起業・就業等を行う方に対し、広島県と連携して移住支援金を交付する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	※移住支援金計 2,000,000円 2,000千円×1件 (夫婦と18歳未満の子ども1人) 内訳…1世帯1,000千円+子ども1人1,000千円 【参考】移住支援金の額 ・単身の場合600千円 ・2人以上の世帯の場合1,000千円 (18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合は、1人につき1,000千円を加算)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本制度の周知を図った成果として、1件の申請につながりました。								

款	項	目						
2	1	8	担当部局・課名	地域共創部まちづくり交通課				
事業名			みよしファンクラブ事業 (三次市ふるさとサポーター事業)					
事業区分			継続事業 政策 5 いきいきとした地域					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 旅 費		普通旅費	217	216	0	1	99.5%
	② 需 用 費		印刷製本費	187	187	0	0	100.0%
	③ 役 務 費		通信運搬費	170	170	0	0	100.0%
	④ 委 託 料		業務委託料	500	361	0	139	72.2%
	⑤ 使用料及び賃借料		会場借上料	670	609	0	61	90.9%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		1,543	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		1	該当/頁	107	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		1,544	該当/頁	109	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			補助金の申請の見込より少なかったため。					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	1,544	0		0	0	1,544		
特定財源 内訳	財源区分 補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市を応援するウチとソトの人が繋がる仕組みを構築し、まちづくりや地域の活性化につなげ、三次市のツナガリ人口の拡充に取り組む。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	※みよしファンクラブ事業 (三次市ふるさとサポーター事業) 費 計 1,543,696円							
	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 (普通旅費) 216,666円 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催のための出張旅費 216,666円 (2回) ○需用費 (印刷製本費) 187,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成業務 107,800円 ・パンフレット増刷分 79,200円 ○役務費 (通信運搬費) 170,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・会報誌等発送料 170,000円 ○業務委託料 (物件費) 360,650円 <ul style="list-style-type: none"> ・缶バッジ作成業務 140,650円 ・ライティング業務 220,000円 ○使用料及び賃借料 (会場借上料) 608,300円 <ul style="list-style-type: none"> ・スクランブルホール会場借上料 608,300円 							
別添資料等	無							
(事業一覧等)	○需用費 (消耗品費) 1,080円 ・会報誌プレゼント企画賞品 1,080円							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	1月の東京会場での交流会では、関東圏の会員の参加があり、三次市内で活躍する方々の紹介や実際に三次市にお越しただいて、まちづくりに関わっていただく仕組みなど、地域や人に関わっていただく事業のアイデアをいただき、今後の関係人口を拡充のための事業展開につなげることができました。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名 私の「みよし暮らし」コンテスト事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	その他報償費		480	438	0	42	91.3%
	②	旅 費	費用弁償		80	38	0	42	47.5%
	③	需 用 費	消耗品費		6	6	0	0	100.0%
	④	需 用 費	印刷製本費		250	140	0	110	56.0%
	⑤	役 務 費	通信運搬費		1	1	0	0	100.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			623	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			37	該当/頁	107	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			660	該当/頁	109	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			補助金の申請の見込より少なかったため。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	660	0		0	0	660			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	ふるさと創生基金繰入金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			「誰かに伝えたいような三次での暮らし」や「憧れるような三次での暮らし」など、自分が体験・描くライフスタイルを全国から募集し、三次暮らしの魅力を発信する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	※私の「みよし暮らし」コンテスト事業費計 661,980円								
	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 (その他報償費) 438,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・賞金 420,000円 <ul style="list-style-type: none"> 最優秀賞 100,000円×2人 優秀賞 40,000円×4人 入選 10,000円×6人 ・入賞作品選定委員 18,000円 (6,000円×2人×2回) ○旅費 (費用弁償) 38,400円 <ul style="list-style-type: none"> ・最優秀賞受賞者旅費 (2人) 38,400円 ○需用費 (消耗品費) 6,380円 <ul style="list-style-type: none"> ・図書カード 5,000円 (500円×10人) ・目録袋等 1,380円 ○需用費 (印刷製本費) 140,800円 <ul style="list-style-type: none"> ・受賞作品冊子作成業務 140,800円 ○役務費 (通信運搬費) 1,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・冊子等郵送料 1,000円 								
	別添資料等 無 (事業一覧等)								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか			今回の受賞作品を1冊の冊子として移住を検討されている方等へ幅広くお渡しすることで、三次での暮らしの魅力を多くの方に発信することができました。						



款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			移住体験・空き家見学現地ツアー事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
	① 報 償 費		その他報償費	13	0	0	13	0.0%	
	② 需 用 費		印刷製本費	80	0	0	80	0.0%	
	③ 役 務 費		通信運搬費	10	10	0	0	100.0%	
	④ 役 務 費		広告費	200	200	0	0	100.0%	
	⑤ 使用料及び賃借料		自動車借上料	150	69	0	81	46.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				279	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				2	該当/頁	107
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				281	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	281	0		0	0	281			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	移住を検討している県内在住者を対象に現地ツアーを開催し、本市へ移住した際のイメージを持ってもらうことや、参加者と地域の人や職員、参加者同士の交流を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	※移住体験・空き家見学現地ツアー-事業費計 281,287円 ○役務費 (通信運搬費) 10,000円 ・参加者や業者への文書郵送料 10,000円 ○役務費 (広告費) 200,000円 ・広告掲載費 200,000円 ○使用料及び賃借料 (自動車借上料) 68,607円 ・移住体験ツアー-送迎業務 68,607円 ○需用費 (消耗品費) 2,680円 ・ツアー参加者飲料水等 2,680円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	開催終了後のアンケートでは、5世帯中4世帯から"内容についてとても満足"という回答をいただきました。満足された理由としては、"移住者のリアルな話が聞けて良かった", "各エリアの雰囲気や特徴を知ることができた"等となっています。また、ツアーを開催後、参加者の1世帯 (1名) が本市へ移住されました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名					みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業	
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報 償 費	その他報償費		30	0	0	30	0.0%
	②	旅 費	普通旅費		5	3	0	2	60.0%
	③	需 用 費	消耗品費		10	0	0	10	0.0%
	④	需 用 費	印刷製本費		80	0	0	80	0.0%
	⑤	委 託 料	業務委託料（物件費）		125	0	0	125	0.0%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →				3	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	107
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →				3	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）			急遽、衆議院選挙が行われることとなったため後日延期となったが、商業施設や出展依頼団体との日程が合わず、実施することができませんでした。						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	3	0		0	0	3			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	広島市内在住者（三次出身者等）をターゲットとした広島市内にある商業施設等でみよし暮らしフェア（出張移住相談会）を実施し、三次の魅力アピールするとともに、ゆかりのある方に対してUターン移住のきっかけとなる場とすることで本市への移住・定住の促進を図ります。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	※みよし暮らしフェア（出張移住相談会）事業費計 2,200円 ○旅費（普通旅費） ・7/5移住相談会協議 2,200円（2人）								
別添資料等	無								
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	上記の理由により、令和6年度は実施できませんでしたが、来年度の実施に向けて、会場利用先の業者や参画する予定であった地域団体と企画内容を練り直し実施に向けた体制を創ることができました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名 縁つなぐ出会い創出支援事業						
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	役 務 費	通信運搬費		1	1	0	0	100.0%
	②	負担金, 補助及び交付金	補助金 (補助費)		1,200	379	0	821	31.6%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		380	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	107
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		380	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	380	0		0	0	380			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	過疎地域持続的発展基金繰入金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	少子化の要因の一つである未婚化, 晩婚化の進行に歯止めをかけること及び定住促進を目的として, 多様な出会いの場を積極的に創出する事業を行う市内の結婚支援団体に対し, 補助金を交付する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	※縁つなぐ出会い創出支援事業費計 380,000円 ○通信運搬費 1,000円 ・通知書等郵送料 1,000円 ○補助金 (補助費) 379,000円 ・三次市結婚支援グループ 7/7実施 補助金 50,000円 参加者数15人 (マッチング数2組) ・Akfour 6/30実施 補助金 30,000円 参加者19人 (マッチング数0組) 11/16実施 補助金 70,000円 参加者19人 (マッチング数2組) ・君田自治区連合会 2/22実施 補助金 34,000円 参加者数11人 (マッチング数0組) ・三次広域商工会 3/15実施 補助金 195,000円 参加者20人 (マッチング数3組)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 							
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	新型コロナウイルス感染症が第 5 類へ移行されてから少しずつ活動は回復傾向にあり, 婚活事業実施団体へ支援を行いました。4 団体 5 事業で補助金交付申請の提出があり, 多様な出会いの場の創出につながりました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名		地域おこし協力隊事業				
事業区分			継続事業		政策 5 いきいきとした地域				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報償費		講師謝礼		1,000	58	0	942	5.8%
	② 報償費		その他報償費		16,776	16,776	0	0	100.0%
	③ 旅費		普通旅費		106	0	0	106	0.0%
	④ 使用料及び賃借料		会場借上料		35	0	0	35	0.0%
	⑤ 負担金、補助及び交付金		補助金(補助費)		10,600	10,547	0	53	99.5%
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			27,381	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	107	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			27,381	該当/頁	109	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	27,381	0		0	0	27,381			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	人口減少・少子高齢化が進む本市において、都市部などの地域外から地域おこし協力隊員を募集することで、地域活動や農業などへの従事を通じて、地域住民とのつながりを深め、地域活性化や地域課題の解決などに取り組み、最終的に定住・定着を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	※地域おこし協力隊事業費計 27,381,462円 ○報償費(講師謝礼) 58,080円 ・三次市地域おこし協力隊交流会講師謝礼 58,080円 ○報償費(その他報償費) 16,776,000円 ・三次市地域おこし協力隊 報償費 16,776,000円 (233,000円×6人×12月) ○負担金、補助及び交付金(補助金(補助費)) 10,547,382円 ・活動補助金 9,547,382円 (1,600,000円×6人) ※3人…計52,618円戻入 ・地域おこし協力隊起業支援補助金 1,000,000円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業は、地域の活性化や農業の担い手不足の解消、本市への定住・定着につなげる取組です。令和6年度は1人の隊員(農業研修生)が任期を終え、新規就農者として本市の振興作物であるアスパラガスの栽培に携わっています。								

款	項	目	担当部局・課名						
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課						
事業名			J R 芸備線・福塩線利用促進事業						
事業区分			継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費		40	0	0	40	0.0%
	② 旅 費		②普通旅費		32	7	0	25	21.9%
	③ 委 託 料		①業務委託料 (物件費)		1,506	1,297	0	209	86.1%
	④ 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)		825	825	0	0	100.0%
⑤ 負担金, 補助及び交付金		①負担金 (補助費)		9,472	9,472	0	0	100.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		11,601		決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				該当/頁		108
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		11,601		該当/頁		111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	11,601	0	648	0	0	10,953			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金						鉄道NWを活かした中山間地域の魅力向上事業費補助金		
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)			地域間幹線交通であるJR芸備線、福塩線について、利用者が減少傾向にあることから、沿線自治体と連携し、その利用拡大と利用促進に向けた事業を行うことで路線の維持と沿線地域の活性化を図る。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	J R 芸備線・福塩線利用促進事業費 計 11,600,526円 ○旅費 6,600円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 1,297,726円 ・芸備線利用促進事業 1,296,726円 芸備線エッセイコンテストの実施 108通の応募 最優秀賞1点, 優秀賞3点, 佳作4点を三次市公式YouTubeに公開 最優秀賞, 優秀賞はRCCラジオで放送 ○負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 824,200円 ・芸備線対策協議会負担金 605,200円 芸備線沿線自治体 (広島市, 安芸高田市, 三次市, 庄原市) で構成する協議会 による芸備線の利用促進策の実施に係る負担金 ・福塩線対策協議会負担金 219,000円 福塩線沿線自治体 (福山市, 府中市, 世羅町, 三次市) で構成する協議会による福塩線の利用促進策の実施 に係る負担金 ○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 9,472,000円 ・三次市地域間幹線公共交通機関利用促進事業補助金 9,472,000円 「バス&レールどっちも割きっぷ」販売支援: 年間販売実績: 19,589枚 市内販売数14,003枚 (71.5%), 広島市内販売数5,586枚 (28.5%)								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	ささまざまなイベントを通じて、鉄道に興味を持っていただき、芸備線や福塩線の沿線活性化を図ることができました。 また、「バス&レールどっちも割きっぷ」の販売は、事業開始年度から利用数は大きく増加しており、自家用車から公共交通に変えて利用した事例も見られるなど一定の効果が得られています。(販売実績: R3年度の3,665件からR6年度19,589件, 約5.4倍) 芸備線の三次駅ー下深川駅間の平均通過人員は、R3年915人, R4年988人, R5年998人, R6年1,001人と増加傾向にあります。福塩線の塩町駅ー府中駅間の平均通過人員は、R3年144人, R4年160人, R5年166人, R6年158人と直近は減少しています。								

款	項	目	担当部局・課名					
2	1	8	地域共創部まちづくり交通課					
事業名			高齢者運転免許自主返納支援事業					
事業区分			継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境			
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称	予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	需用費	④印刷製本費	110	0	0	110	0.0%
	②	役務費	①通信運搬費	125	96	0	29	76.8%
	③	扶助費	①扶助費	1,238	1,238	0	0	100.0%
	④						0	
	⑤					0		
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			1,334	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁	108
	臨時会補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			1,334	該当/頁	111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)								
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	1,334	0	0	0	0	1,334		
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金							
	県支出金							
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高齢ドライバーの交通事故防止と公共交通機関の利用促進を図るため、運転免許を自主的に返納した65歳以上の高齢者に対し、タクシー利用助成券など公共交通利用促進に係る支援を実施する。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	高齢者運転免許自主返納支援事業費 計 1,333,580円 ○役務費 (①通信運搬費) 95,680円 ・タクシー利用助成券等発送に係る経費 95,680円 ○扶助費 (①扶助費) 1,237,900円 ■高齢者運転免許自主返納支援事業助成額 1,239,700円 (令和6年度中の助成金交付額) ①市民バス等無料利用者証 9,900円 ②広島県交通ICカード 242,000円 (モビリーデイズ10,500円×4件=42,000円, パスビー10,000円×20件=200,000円) ③市内タクシー利用助成券 986,000円 (500円×1,972枚=986,000円) ■高齢者運転免許自主返納支援事業申請件数 188件 (令和6年度中に申請のあった数) ①市民バス等無料利用者証 (2年度間有効) 5件 ②広島県交通ICカード (1万円分, 有効期限なし) 24件 ③市内タクシー利用助成券 (1万円分, 3年度間有効) 159件							
	別添資料等 無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業は、三次警察署と連携し、高齢者が運転免許証を自主的に返納するためのきっかけとする事業として位置づけており、令和6年度は188件の免許返納の申請があり、高齢ドライバーの事故防止と公共交通の利用促進を図ることができました。							

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名		生活交通確保対策事業				
事業区分		継続事業		政策 2 安全で快適な生活環境					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	需用費	④印刷製本費		114	0	0	114	0.0%
	②	委託料	①業務委託料(物件費)		55,268	55,268	0	0	100.0%
	③	負担金, 補助及び交付金	18①負担金(補助費)		16,266	16,266	0	0	100.0%
	④	負担金, 補助及び交付金	18⑤補助金(補助費)		216,168	216,168	0	0	100.0%
⑤	扶助費	19①扶助費		1,459	1,459	0	0	100.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →				289,161	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	108
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →				289,161	該当/頁	111
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	289,161	0	4,170	0	0	284,991			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	広島県市町等運行路線再編促進費補助金							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	三次市地域公共交通計画に基づき、通勤・通学、通院、買い物等といった市民の日常生活に係る移動手段を確保・維持するため、路線バスに対する運行支援や三次市民バスの運行業務委託を行うほか、相乗りタクシー事業等による公共交通空白地の解消を図る。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	生活交通確保対策事業費 計 289,158,662円 ○委託料 (①業務委託料(物件費)) 55,267,234円 ・市民バス運行業務委託料 55,267,234円 三次市民バスの運行業務委託料(各路線の利用者数: 君田町線2,874人, 布野町線1,389人, 作木町線1,199人, 吉舎町線1,741人, 三和町線892人, 甲奴町線911人) ○負担金, 補助及び交付金 (①負担金(補助費)) 16,265,429円 ・三次市地域公共交通会議負担金 5,594,429円 (※自家用有償運送(さくぎニコニコ便)の運行支援 2,028,014円を含む) ・三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 200,000円 ・三江線代替バス(式敷三次線)運行負担金 10,471,000円 ○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費)) 216,167,699円 生活交通維持対策補助金 ・路線バス(備北交通, 中国バス, 十番交通, 君田交通)の運行維持に係る補助金 208,753,000円 ・PASPY廃止に係る決済システム補助金(中国バス, 君田交通) 1,501,000円 ・ふれあいタクシーみらさか(三次広域商工会)の運行維持に係る補助金 5,913,699円(利用者数1,405人) ○扶助費 (①扶助費) 1,458,300円 ・相乗りタクシー事業助成費 1,458,300円(申請者数48人)				 				
	別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	鉄道, 高速バス, 路線バス等の広域幹線交通と, 市街地循環バス, 三次市民バス, ふれあいタクシーみらさか等の地域内交通の組み合わせにより, 通勤・通学, 通院, 買い物等といった市民の日常生活に係る移動を支えました。路線バスでは停留所新設, 三次市民バスでは経路変更, フリー乗降化といった地域の要望に沿った見直しを図り利便性向上につなげました。また, 公共交通網が不十分な地域への対策として, 継続して三次市相乗りタクシー事業やNPO法人が運行する自家用有償旅客運送への支援を実施し, 公共交通空白地の解消を図りました。令和6年度の新たな試みとして, 高齢者福祉課と連携し, 介護支援専門員向けの研修会において, 三次市相乗りタクシー等の市の支援事業や三次市民バスの周知に努め利用促進を図りました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名 三次いきいき安全ドライブ運動事業						
事業区分			新規事業		政策 2 安全で快適な生活環境				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	需用費	①消耗品費		18	16	0	2	88.9%
	②	役務費	①通信運搬費		380	32	0	348	8.4%
	③	委託料	①業務委託料(物件費)		232	232	0	0	100.0%
	④								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →				280	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	108
	臨時会補正		⑧(⑥+⑦)事業決算合計額 →				280	該当/頁	109
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	280	0	0	0	0	280			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	高齢ドライバーの交通事故予防と運転寿命の延伸を図るため、65歳以上の高齢者に対し、テレマティクスタグ(車の挙動を測定する車載器)を車に取り付け、自身の運転を客観的に分析をし、運転能力の把握と安全運転意識の醸成を図る。さらに集めたデータをもとに交通安全マップを作成する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	三次いきいき安全ドライブ運動事業費 計279,524円 ○消耗品費 16,212円 ○通信運搬費 31,362円 参加者への測定結果通知等の郵送料 ○委託料(①業務委託料(物件費)) 231,950円 ・通信機器設置業務委託料 150,000円 ・QUOカードデザイン及び印刷等業務 81,950円								
	別添資料等 無 (事業一覧等)	 							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	本事業に322名の参加をいただき、テレマティクスタグの測定集計により市内の危険ポイントなど多くのデータを集めることができました。 実施後の振り返りでは、本事業に参加したことで特に安全運転の意識が高まった(気を付けて運転するようになった等)の声を多くいただき、参加者の安全運転意識の醸成につながったことが確認できました。 交通安全マップは市のホームページで公開しており、いつでも確認できるほか、三次市内自動車学校でも活用されています。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部まちづくり交通課				
2	1	8	事業名				もののけミュージアム5周年記念事業		
事業区分			新規事業		政策4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	3,500	3,500	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		3,500	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	110
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		3,500	該当/頁	113
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	3,500	0	0	0	3,500	0			
特定財源 内訳	財源区分						補助金・負担金・交付金等の名称		
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他						ふるさと創生基金		
事業内容及び めざした目的 (具体的に)		湯本豪一記念日本妖怪博物館の開館5周年にあたり、(一社)三次観光推進機構に対して特別展の開催及びスタンプラリーの実施に係る補助金を交付し、博物館への入館者の増加や三次町のにぎわい創出をめざす。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 3,500,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 三次もののけミュージアム5周年記念事業 ・申請者 (一社)三次観光推進機構 ・事業内訳 <p>1 開館5周年記念特別展「体験! 石黒亜矢子原画展」の開催 期間中(令和6年4月26日~10月15日)の入館者8,683人</p> <p>2 開館5周年記念「三次もののけ遺産&グルメスタンプラリー2024」の実施 期間中(令和6年7月11日~10月15日)の閲覧者など 当サイトの閲覧者は2,092人 うち418人が三次町内を周遊 うち240人がスタンプラリーにエントリー うち113人が特典応募に参加しました。</p>								
	別添資料等 無 (事業一覧等)		 						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	開館5周年を記念した事業の実施を支援することにより、博物館のPRや期間中の入館者の増につながるとともに、飲食店などを巡るスタンプラリーをきっかけに博物館の入館者の三次町の周遊とにぎわい創出につながりました。さらにスタンプラリーでは、参加者へのアンケート調査も実施し、調査結果を今後の博物館の入館者増に向けた対策に活用することができました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
2	1	9	事業名		高校生国際理解推進事業				
事業区分			継続事業 (拡充)		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	1,200	608	0	592	51.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		608	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正	○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	114
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		608	該当/頁	117
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	608	0	0	0	0	608			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	市内高等学校での国際交流活動を通して語学力の向上や異文化への理解を育み, 国際感覚豊かな人材を育成することを目的として, 市内高等学校において実施される国際交流活動に対して補助金を交付する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	高校生国際理解推進事業補助金 負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 607,895円				 <p>JICA中国出前講座 (日彰館高等学校)</p>  <p>姉妹校との交流 (三次青陵高等学校)</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化比較研究 22,895円 JICA中国の出前講座を活用し、講話とワークショップを受講した。台湾と日本の比較研究をしている台湾からの留学生を講師として招き、高校生からの質問形式で交流を行いました。 (参加人数) 日彰館高等学校2学年生徒 71名 ・おもてなしプラン 100,000円 吉舎で学ぶ生徒が、広島大学の留学生に、英語を使った活動や地域・日本文化の紹介、吉舎町歩きガイドツアーを通して、おもてなしを行いました。 (参加人数) 日彰館高等学校全生徒 217名 ・姉妹校訪問 485,000円 国立基隆高級商工職業学校生と交流を行い、共同製作作業や意見交換等を行いました。 (参加人数) 三次青陵高等学校生徒 7名 								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行了 ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	参加生徒からは、「姉妹校との交流により、お互いの価値観や考え方を直接肌で感じるとともに、広い世界への知的好奇心を刺激することができ成長を感じました。」や「海外協力隊経験者の講話やワークショップを通して、自らが異文化に身を置くことになった際の感情を経験するとともに、多様性や違いを認め、受容することの重要性を学ぶことができました。」などの報告があり、語学力向上や異文化理解に一定の効果がありました。								

款	項	目							
3	1	5	担当部局・課名	地域共創部・共生社会推進課					
事業名			人権啓発推進事業						
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	報償費	②講師謝礼		408	337	0	71	83.0%
	②	報償費	⑤その他報償費		816	684	0	132	84.0%
	③	需用費	①消耗品費		386	370	0	16	96.0%
	④	負担金, 補助及び交付金	①負担金(補助費)		343	343	0	0	100.0%
⑤	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金(補助費)		663	663	0	0	100.0%	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →			2,397	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			184	該当/頁	148	
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			2,581	該当/頁	149	
100万円以上の不用額が生じた理由(該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,581	0	254	0	0	2,327			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金	権啓発地方委託金(65千円), 地域日本語教育を核とした多文化共生の地域づくり支援事業委託金(189千円)							
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	講演会の実施や、各学校での人権の花運動、人権ハート絵制作を実施することで、人権について考え理解を深める機会を作る。また、在住外国人が暮らしやすい環境づくりを推進するため、外国人のための生活相談や日本語学習支援を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>報償費(②講師謝礼)336,122円 ・PTA人権教育講演会 61,110円 ・外国人相談に係る講師謝礼 122,232円 ・日本語学習支援スタッフ養成講座講師謝礼 152,780円</p> <p>報償費(⑤その他報償費)683,240円 ・日本語指導謝礼 646,430円ほか</p> <p>需用費(①消耗品費)369,926円 ・人権ハート絵かがやきメッセージ展 22,990円 ・「人権の花」運動 156,600円 ・人権啓発冊子 121,935円 ほか</p> <p>負担金, 補助金及び交付金(①負担金(補助費))342,706円 ・三次市人権擁護委員協議会負担金 342,706円</p> <p>負担金, 補助金及び交付金(⑤補助金(補助費))663,000円 「2024ハピネスフェスタ」補助金(講師委託料分) 500,000円 ・講演会: 碓 穂さん「多様性と共生」 ・日時: 令和6年11月17日(日)14時00分~15時まで ・参加人数: 120人 ・同時開催: 中学生人権作文表彰者による作文朗読, 人権についての寸劇, 人権ハート絵かがやきメッセージ, 啓発パネル等の展示 ・三次地区保護司会補助金 163,000円</p>								
	別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	<p>「2024ハピネスフェスタ」では碓穂さんによる講演会を実施し、一人ひとりが多様な性のあり方への理解を深め、「多様性とは何か、みんなが自分らしく生きられる社会とは何か」を考えていただく機会となりました。「人権」を身近に感じていただき、効果的な啓発を行うことができました。</p> <p>小中学生による人権ハート絵かがやきメッセージは学校単位で取り組みが行われ、展示の場を提供することで、人権尊重意識の普及・高揚を図ることができました。「人権の花」運動により、児童の人権に対する関心を高め、理解を深めることができました。</p> <p>みよし日本語教室では、在住外国人の日本語学能力の習得を支援するとともに、日本語学習支援スタッフ養成講座を実施しました。学習希望者が増加する中で、すべての学習者に対応することができ、在住外国人が安心して暮らせる環境づくりの推進に努めました。</p>								



2024ハピネスフェスタ



人権ハート絵かがやきメッセージ展

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
3	1	5							
事業名			平和推進事業 (平和祈念事業)						
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 報 償 費		⑤その他報償費		20	20	0	0	100.0%
	② 需 用 費		①消耗品費		30	17	0	13	57.0%
	③ 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金 (補助費)		425	410	0	15	96.0%
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →				447	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →				0	該当/頁	148
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →				447	該当/頁	149
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	447	0	0	0	0	447			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	平和を願う思いの継承と市民の平和に対する意識の高揚を図るため、「平和の灯ろうコンテスト」、「平和のつどい MIYOSHI2024」等の平和推進事業 (平和祈念事業) を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	報償費(⑤その他報償費) 19,468円 ・平和の灯ろうコンテスト(景品) 4部門×3賞 19,468円 需用費(①消耗品費) 16,933円 ・平和の灯ろうコンテストの開催及び表彰に係る消耗品 16,933円 負担金, 補助及び交付金(⑤補助金(補助費)) 409,293円 ・平和のつどい実行委員会補助金 284,293円 ・【内容】「平和のつどいMIYOSHI2024」(「平和の灯ろうコンテスト」「平和への想い」の作品表彰など) 【開催日】令和6年8月2日 ・三良坂平和を願う会補助金 125,000円				 平和のつどいMIYOSHI2024  第12回平和の灯ろうコンテスト				
	別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「平和の灯ろうコンテスト」や折り鶴の募集など、多くの市民参加による平和推進事業 (平和祈念事業) を展開することで、恒久平和の願いの浸透を図ることができました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
3	1	5	事業名 男女共同参画推進事業						
事業区分		継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし					
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 委託料		①業務委託料(物件費)		709	413	0	296	58.0%
	② 負担金, 補助及び交付金		⑤補助金(補助費)		2,075	1,922	0	153	93.0%
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥(①~⑤の計) →			2,335	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			267	該当/頁 150		
	臨時会 補正		⑧(⑥+⑦) 事業決算合計額 →			2,602	該当/頁 151		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,602	0	0	0	0	2,602			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	「三次市男女共同参画基本計画(第4次)~一人ひとりがしあわせな社会をめざして~」に基づき, 市民一人ひとりが, 自らの選択によって仕事と地域活動を含めた暮らしの両立において充実した人生が送れるよう, 男女が個人として能力を発揮する機会が確保され, とともに活躍できる社会の実現をめざし, 男女共同参画推進事業を実施する。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料(①業務委託料(物件費)) 413,000円 ・男女共同参画推進講演会 講師委託料 22,000円 男女共同参画週間に合わせて, 講演会を行い男女共同参画について理解の浸透を図りました。 ・MIYOSHI2025国際女性デー 男女共同参画推進映画上映会 業務委託料187,000円 ポスター・チラシ作成業務委託料 99,000円 男女共同参画推進映画上映を行い, 男女共同参画について考えていただく機会を提供しました。 ・男女共同参画推進講演会講師派遣 講師委託料 105,000円(R6年度 3件) 負担金, 補助金及び交付金(⑤補助金(補助費)) 1,921,628円 ・三次市女性連合会補助金 1,541,452円 男女共同参画社会の実現を活動目標に掲げている三次市女性連合会に対し, 補助金を交付して活動を支援しました。 ・三次市女性活動サポート事業補助金 380,176円 市民を対象に実施した男女共同参画推進事業に対し, 補助金を交付しました。								
	別添資料等	無 (事業一覧等)							
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	男女共同参画推進講演会・映画上映会を実施し, 開催方法を変えて幅広い世代の方へ男女共同参画について考えていただく機会を提供するとともに, 広報紙, HP等も活用しながら市民啓発を行い, 男女共同参画の理解の浸透につなげました。 また, 三次市女性連合会の活動を支援し, 講演会等を通して男女共同参画社会の実現に寄与しました。								



MIYOSHI2025国際女性デー
男女共同参画講演会

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
7	1	2	事業名						女性活躍推進プラットフォーム事業 (アシスタlab.)
事業区分			継続事業		政策 1 健康で安心感のある暮らし				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	委託料	①業務委託料 (物件費)		10,218	10,203	0	15	99.9%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			10,203	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			206	該当/頁 224		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			10,409	該当/頁 225		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	10,409	2,250	0	0	0	8,159			
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金		地域女性活躍推進交付金						
	県支出金								
	負担金等その他								
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	女性の活躍推進・就業率向上をめざして、それぞれのライフステージに合わせた、女性の多様な選択やチャレンジを支援し、女性の「働く」を応援する環境の整備の一環として、女性活躍推進プラットフォーム事業「アシスタlab.」を開設し、起業・就業の機運醸成と必要な支援を行う。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	委託料(①業務委託料(物件費))10,202,130円 ・女性起業支援業務委託料 委託料:9,999,990円 委託内容:起業(創業)セミナー, 就職セミナー, 専門家による個別相談, 交流会, 会員によるトライアルチャレンジ, コーディネーター業務など 会員数 580人 利用者数 2,493人 セミナー 194人 個別相談 42人 交流会 5回 出張教室 4件								
	・女性起業家「みよしアントレーヌ」認定証作成業務委託料 委託料:202,140円 R6年度みよしアントレーヌ認定件数 14件(累計108人)								
別添資料等	無								
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	起業家数 (みよしアントレーヌ認定件数) は、令和 6 年度末で108名となり、女性のそれぞれのライフステージに合わせた、コーディネートや各分野の専門家による個別相談など、多様な働き方が選択できるような伴走型の支援が成果を上げているといえます。年々会員数も増加しており、着実に実績を積み上げています。 創業セミナーでは、毎回定員を超える申込があり、また、交流会やマルシェ、トライアルを行うことで、起業を目指す方の成長の機会として、情報共有の場として大きな役割を担っています。								



専門家による個別相談

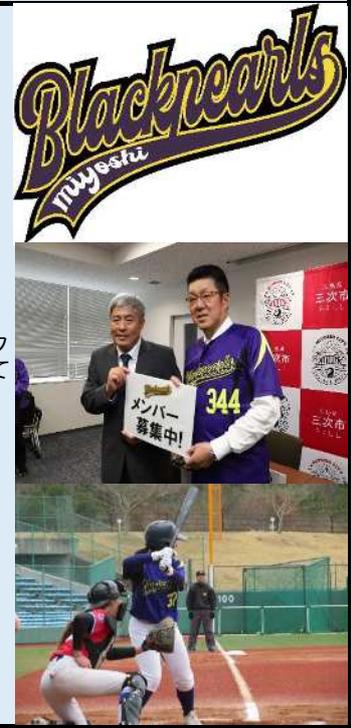


創業セミナー

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
10	5	5	事業名						スポーツのまちみよし応援事業 (子どもの夢を応援事業など)
事業区分			継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤	補助金 (補助費)	14,750	14,606	0	144	99.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤)の計		→	14,606	決算に関する説明書
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入		→	0	該当/頁 280
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額		→	14,606	該当/頁 283
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和6年度	14,606		0	5,000	0	9,606	0		
特定財源 内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金								
	県支出金		わがまちスポーツ推進事業補助金						
	負担金等その他		スポーツ・文化みよし夢基金, 企業版ふるさと納税基金						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	<p>全ての人々がそれぞれのライフステージに応じたスポーツとのかかわり方を考え、「いつでも」、「どこでも」、「誰も」が普段の生活の中で自然とスポーツに親しみ、健康でいきいきと活力あふれる「スポーツのまちみよし」を実現することを目的に、「三次スポーツコミッション」が中心となり、関係団体等との連携により各種スポーツの推進に係る取組を行う。</p>								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費))14,606,317円 【事業内容】 ①地元チームを応援 広島県を拠点とするチームを応援・支援するため、子どもたちとトップチームとの交流を図り、競技人口の増加をめざしました。 ②子どもの夢を応援(トップアスリートとの交流等) スポーツをしていない子どもを対象としたスポーツ体験企画や、プロ選手やトップアスリートによるスポーツ教室、交流事業などの開催や支援を行い、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりを行いました。 ③スポーツ大会・合宿誘致 各種大会や合宿誘致を行い「みる」機会を創出するとともに、各施設を利用した合宿等の誘致を行い、施設の稼働率の向上及び地域や小中高校とのスポーツを通じた交流人口の拡大をめざしました。 ④女子スポーツ応援 女子スポーツを推進し、女性の活躍の場の創出や、関係人口の拡大と地域活性化を図るため、実施事業に対し活動支援を行いました。特に、女子野球を通じた地域活性化を推進するため、三次市を拠点とする女子硬式野球クラブチーム「三次Black Pearls(ブラックパールズ)」の設立を支援しました。 ⑤Sport in Life推進(スポーツの習慣化等) 市民がライフステージに応じた運動・スポーツを習慣化するきっかけづくりを目的とした取組を行いました。 ⑥その他 「三次スポーツコミッション」の支援や中学校の部活動への地域展開に係る検討及び必要な対応を行いました。</p>								
	別添資料等	無							
成果/評価 * 事業を執行了ことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	<p>三次スポーツコミッションを設立し、官民共創でスポーツを通じたまちづくりや地域活性化に取り組みました。特に女子硬式野球クラブチームの設立支援を中心に、侍ジャパン女子代表強化合宿や広島ドラゴンフライズ公式戦三次市冠試合、女子野球の各種大会、小学生を対象としたスポーツ体験型イベントなどを開催しました。</p>								



款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
10	5	5	事業名						スポーツのまちみよし応援事業（女子硬式野球チーム設立支援）
事業区分			継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)		4,010	4,010	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正		⑥ (①~⑤の計) →		4,010	決算に関する説明書	
	9月補正		3月補正		⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁	280
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		4,010	該当/頁	283
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	4,010	0	0	0	1,760	2,250			
特定財源 内訳	財源区分							補助金・負担金・交付金等の名称	
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他							企業版ふるさと納税基金	
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	女子野球文化の根付いた「女子野球のまち みよし」の実現に向け女子野球と親和性の高い、「スポーツのまちみよし」や「女性の活躍推進」の取り組みとの相乗効果により、市内外における新たな関係人口を生み出し、地域活性化へつなげていく。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費))4,009,280円								
	<p>監督就任会見等経費 チラシ・パネル作成業務委託 ユニフォーム等作成業務委託 女子硬式野球チーム指導委託 練習場(電光石火きんさいスタジアム三次)使用料 中四国女子硬式野球連盟登録料</p> <p>スポーツ安全保険掛金チーム設立に向けた広報の取組 チーム設立記者会見や地上波放送・CATVでの広報を行いました。</p> <p>支援企業の開拓 スターライト工業株式会社並びにJA共済連広島と連携協定を、株式会社ヤクルト山陽と包括協定を締結し財政面、選手雇用面、物品支給面で支援を受けています。さらに、支援企業増加を目的に、企業向け営業用資料を作成し、各市内外企業へ営業を行っています。</p>								
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	「三次ブラックパールズ」の設立は、地域活性化や女性活躍の推進に寄与しました。女子硬式野球チームは市民の関心を引き、スポーツ文化（女子野球文化の定着）を育てるとともに、地域経済にもプラスの影響を与えています。地元企業との連携により、スポーツ振興と人材育成が進んでいます。また、チームの活動は三次市の認知度を高めるとともに、地域課題への取り組みを通じてコミュニティの強化や地域全体の土気向上にも寄与しています。								



款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
10	6	1	事業名				スポーツのまちみよし応援事業 (スポーツ等合宿助成事業)		
事業区分			継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)		3,000	2,742	0	258	91.0%
	②								
	③								
	④								
	⑤								
補正 区分	6月補正		12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		2,742	決算に関する説明書		
	9月補正		3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	該当/頁 282		
	臨時会 補正				⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		2,742	該当/頁 285	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	2,742	0	0	0	2,741	1			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	スポーツ・文化みよし夢基金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	各スポーツ施設等を利用した合宿, 大会等における宿泊の費用を助成し, 施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大をめざす。								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費))2,741,490円 スポーツ合宿やスポーツ大会のため, 三次市内に宿泊し, 三次市内のスポーツ施設等を利用した団体等に対し宿泊助成を行いました。 ・申請件数 96件(内訳:合宿30件, 大会66件) ・延べ利用者数 2,691人 ・利用のあったスポーツ施設等 みよし運動公園, 電光石火きんさいスタジアム三次, 三和総合運動公園, みらさか学園グラウンド, 吉舎農山村広場, カーター記念球場, 三良坂運動公園, 吉舎海洋センター, 三和農業者トレーニングセンター, 電光石火みよしパーク, 三和中学校グラウンド, 十日市親水公園, 三次市営球場, 三次高等学校, 弘法山体験交流センター, ほしはら山の学校, 県立三次高等学校体育館 ・申請のあった種目 サッカー, 野球, ソフトテニス, 陸上競技, バレーボール, 新体操, ハンドボール, テニス, 剣道, 競泳, バスケットボール, 水泳								
									
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより, どのような成果や効果をもたらしたのか	施設の稼働率の向上及びスポーツを通じた交流人口の拡大に寄与しました。								

款	項	目	担当部局・課名		地域共創部・共生社会推進課				
10	6	2	事業名					みよし運動公園運動広場人工芝整備工事	
事業区分			継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい				
事業 (経費) 内の主 な費目	節名称		細節名称		予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
	① 工事請負費		① 工事請負費		253,000	253,000	0	0	100.0%
	②								
	③								
	④								
⑤									
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →			253,000	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	該当/頁 284		
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →			253,000	該当/頁 287		
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)									
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他				
令和6年度	253,000	0	0	240,300	12,700	0			
特定財源 内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称							
	国庫支出金								
	県支出金								
	負担金等その他	都市基盤整備基金							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	<p>本施設は、みよし運動公園の施設の中でも多目的利用に対応可能な施設として、サッカー、野球、ソフトボール等多くの種目で利用されているが、真砂土舗装が経年劣化により波打ち、上層碎石が露出し使用に支障が出てきたことから、運動広場全面に人工芝を敷設することで、すべての方が安全で快適なスポーツを楽しめる環境を提供する。</p>								
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>工事請負費(①工事請負費) 253,000,000円</p> <p>ロングパイル人工芝(t=55) A=16,876.1㎡ ロングパイル人工芝(t=50) A=626.2㎡ 砂入人工芝(t=19) A=1,884.1㎡ コンクリート舗装工 A=141.5㎡(不陸整正・下層路盤・特殊下地処理) 板状暗渠 L=2,160m 暗渠管 L=548.4m フェンス工 L=515.6m 片開き門扉 N=6箇所 両開き門扉 N=2箇所 境界ブロック L=503.4m</p>								
									
別添資料等	無								
(事業一覧等)									
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	安全で快適なスポーツ環境を提供できるようになり、特に子どもたちのサッカーでの利用が増加しています。								